

平成19年7月19日

福島県生活環境部
総務企画グループ
電話(直通) 024-521-7180

石油製品の価格動向調査の結果について

県内の石油製品4品目について、7月10日～17日（14日～16日を除く）に価格動向調査を実施しましたが、その結果については以下のとおりです。

1 石油製品の価格動向調査の結果（非定店調査）

（単位：円、消費税込み）

品目名	規格・容量	店舗形態	前月調査の 平均価格	7月調査の 平均価格	対前月比 (%)
ガソリン	レギュラー1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	138	141	2.2
		セルフ	136	139	2.2
軽油	個人消費向け1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	117	120	2.6
		セルフ	116	117	0.9
灯油	店頭価格、18ℓ	一般店舗	1,352	1,378	1.9
		セルフ	1,305	1,318	1.0
	配達価格、18ℓ	一般店舗	1,468	1,509	2.8
LPガス	一般家庭用、10m ³	一般店舗	6,619	6,769	2.3

◎ 7月はすべての品目で値上がりし、ガソリン・灯油は4か月、軽油は5か月、LPガスは2か月連続で値上がりした。特にガソリンは昨年10月以来の140円台となった。

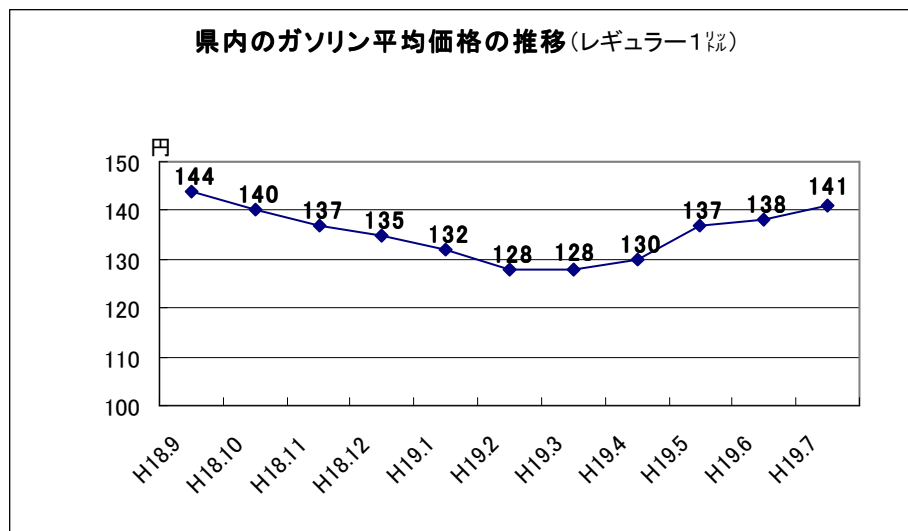
これは、原油価格の上昇と円安を受けた元売各社の卸売価格の引き上げが、小売価格に転嫁されたためと見られる。

WTI原油やドバイ原油が昨年夏以来の高値を付けている状況の中、卸売価格の更なる引き上げの観測もあることから、今後もう一段の値上がりも予想され、引き続き動向を注視していく必要がある。

2 県内の石油製品価格の推移

(1) ガソリン価格

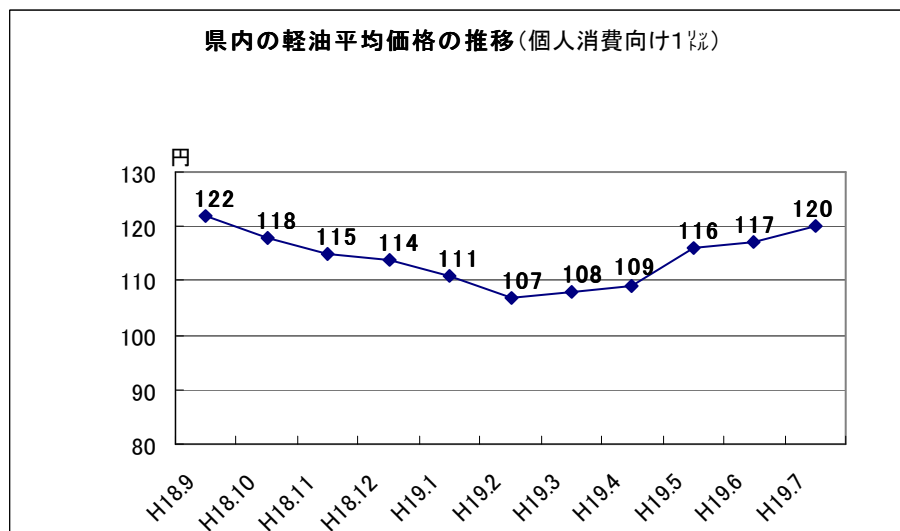
※ 一般店舗価格



- ◎ 4か月連続で値上がりし、141円となり、昨年10月以来の140円台となった。
原油価格の上昇と円安を受けた元売各社の卸売価格の引き上げが、小売価格に転嫁されたためと見られる。

(2) 軽油価格

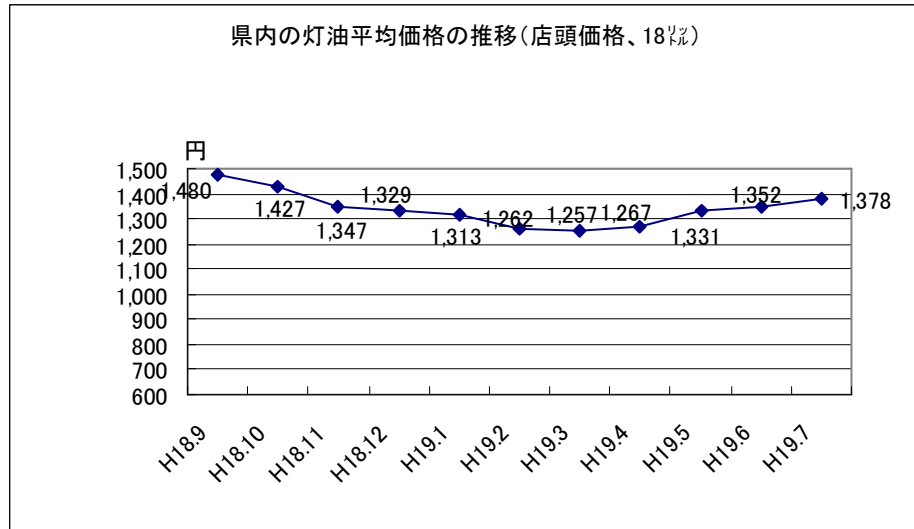
※ 一般店舗価格



- ◎ 5か月連続で値上がりし、120円となり、昨年9月以来の120円台となった。
原油価格の上昇と円安を受けた元売各社の卸売価格の引き上げが、小売価格に転嫁されたためと見られる。

(3) 灯油価格

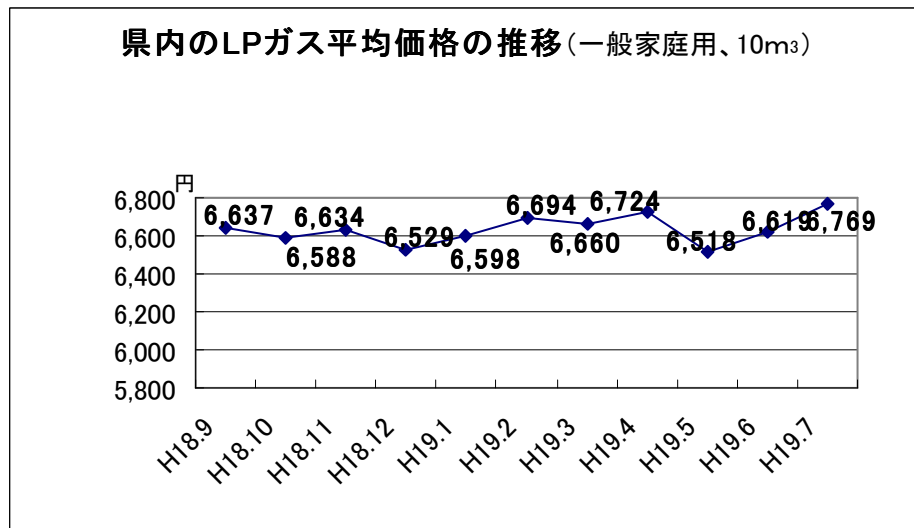
※ 一般店舗価格



- ◎ 6月調査と比較すると、7月は26円(1ℓ当たり1.4円)値上がりし、1,378円となった。原油価格の上昇と円安を受けた元売各社の卸売価格の引き上げが、小売価格に転嫁されたためと見られる。

(4) LPガス価格

※ 一般店舗価格



- ◎ LPガスは、2か月連続で値上がりし、6,769円となり、6月調査と比較すると150円値上がりした。